

小さなことに一喜一憂しない

樋野興夫著

病気は人生の夏休みより

人の意見はころころと変わるものです。それにもかかわらず、周りの反応に一喜一憂していたらそれだけで疲れてしまうでしょう。

「人を相手にせず、天を相手にせよ。天を相手にして己を尽くし人を咎めず、我が誠の足らざるを尋ぬべし」
(西郷隆盛)

人に褒められようと、褒められまいと、どうだっていいのです。

人生には、自分ではコントロールできないことがたくさんあります。しかも、そうしたことに頭を悩ませている人も大勢います。

たとえば、いつ死ぬかなんて誰にもわかりません。そうした自分でコントロールできないことに一喜一憂することほど無駄なことはありません。

日々起こる些細なことに振り回されず、その日その日を精一杯生きる。
それが大切です。

